



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月24日

上場会社名 株式会社ダイユーエイト 上場取引所 東
 コード番号 2662 URL http://daiyu8.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅倉 俊一
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 石黒 隆 (TEL) 024 (545) 2215
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	30,133	4.6	780	△20.4	777	△19.7	663	6.0
25年2月期第3四半期	28,791	1.7	981	△43.4	968	△44.0	626	8.5

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 685百万円(7.8%) 25年2月期第3四半期 636百万円(11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	85.82	—
25年2月期第3四半期	84.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	28,638	5,477	19.0
25年2月期	25,846	4,946	19.1

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 5,466百万円 25年2月期 4,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年2月期	—	10.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	5.2	1,350	3.5	1,300	1.5	760	12.3	98.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社エイトファーム

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期3Q	7,734,000株	25年2月期	7,734,000株
26年2月期3Q	117株	25年2月期	117株
26年2月期3Q	7,733,883株	25年2月期3Q	7,414,545株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年2月21日～平成25年11月20日)におけるわが国の経済は、新政権による円高是正、金融緩和政策をはじめとした一連のアベノミクス効果により、年度初めは円安・株高基調が顕著であり、国内の景況感は緩やかに持ち直しの動きが見られました。

しかしながら、企業の設備投資、個人所得につきましては低迷しており、個人消費につきましては節約志向、低価格志向が強い状況であり、なおかつ、平成26年4月以降の消費税増税に伴う実質所得の減少等の懸念材料もあることから、依然として先行き不透明感を払拭しきれない状況であります。

流通小売業界におきましても、消費節約志向、流通小売業界全体での業種・業態を超えた激しい競争環境にあり、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは当第3四半期連結累計期間におきまして新規出店として、ホームセンター「ダイユーエイト」は3月に岩手水沢店を開設し、当社グループとして初めて岩手県に進出するとともに、9月には郡山インター店(福島県)を開設いたしました。また、ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」は吹上店(開店7月 埼玉県)、秋田茨島店(同9月 秋田県)、米沢店(同10月 山形県)の計3店舗を開設いたしました。また、自転車専門店「One's cycle」は笹谷店(開店10月 福島県)を開設いたしました。なお、自転車専門店事業のフォーマット見直しに伴い、ひたちなか店(閉鎖9月 茨城県)を閉鎖しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、90店舗となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結売上高は301億3千3百万円(前年同期比4.6%増)、連結営業利益は7億8千万円(同20.4%減)、連結経常利益は7億7千7百万円(同19.7%減)、連結四半期純利益は6億6千3百万円(同6.0%増)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客数は0.4%減少しましたが、客単価が0.7%増加したことから、既存店売上高は0.2%増加しました。

既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、春先は前年に比べ平均気温が上昇したことから、灯油・ストーブ等の暖房関連用品の売上高は前年対比で減少しましたが、用土・肥料・花苗・野菜苗といった園芸用品、植物の売れ行きが好調に推移しました。また、転居等に伴うインテリア・エクステリア関連商品についても継続する復興需要により売上高が伸びました。さらに、今期の課題としてワーク衣料売場の拡充、品揃えの見直しに取り組んでまいりました結果、前年対比で同カテゴリーの売上高を伸ばさせることができました。一方、前年は東日本大震災の発生に伴い被災3県(岩手県・宮城県・福島県)において地デジ放送への移行延期の影響で大きく売上高が伸びていた地デジチューナー・テレビ等の家電用品については特需が一巡し、売上高は前年対比で減少いたしました。夏場は、梅雨明けが例年に比して遅く、低温多雨の天候が続いた影響により、すだれ・よしず・網戸・扇風機等の時節商品についても売上高が前年対比で減少いたしました。他方で、多雨の影響により合羽・長靴・ワイパー関連商品の売上高が堅調に推移しました。梅雨明け後は一転し猛暑日が続いたことで、キャンプ関連・ミネラルウォーター・エアコン等の売上高が前年比で増加いたしました。秋口からは、日中高温の天候が続く、気温低下が例年に比して遅れたことで、防寒用品、暖房関連用品の売れ行きが軟調に推移しております。一方で、灯油の売上高は出足好調で、売上高を牽引している状況ではありますが、売上総利益率の押し下げ要因となっております。

一方、セグメント利益につきましては、販売広告費が前年に比べ増加していること、また、新規出店及び既存店改装に伴う費用負担の増加により、前年同期比でセグメント利益(営業利益)は減少しております。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は247億9千万円(前年同期比2.6%増)、セグメント利益(営業利益)は、15億4百万円(同5.7%減)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業における売上高は5億8千1百万円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益(営業利益)は2億3千3百万円(同7.6%増)となりました。

なお、近隣型ショッピングセンター「エイトタウン」は、当第3四半期連結会計期間末において計5箇所であります。

〔その他〕

当事業における売上高は、「ペットワールドアミーゴ」を展開するペットショップ事業及び「One's cycle」を展開する自転車専門店事業等により60億1千6百万円(前年同期比19.2%増)、セグメント損失(営業損失)は1億6千万円(前年同期はセグメント損失1億3千8百万円)となりました。

(注) 第3四半期連結累計期間において、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億9千2百万円増加し、286億3千8百万円となりました。この主な要因は、新規出店及び年末年始向け季節時節商品の仕入に伴うたな卸資産の増加、新規出店設備としての建物及び構築物、リース資産の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ22億6千1百万円増加し、231億6千万円となりました。この主な要因は、たな卸資産増加に伴う支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の増加、未払法人税等の減少並びに設備資金としての長期借入金の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億3千1百万円増加し、54億7千7百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年4月2日付「平成25年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社である株式会社エイトファームは、当社を吸収合併存続会社、株式会社エイトファームを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、平成25年6月21日付で連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754,809	1,638,471
売掛金	264,803	415,239
たな卸資産	6,940,930	8,089,336
その他	615,518	693,402
流動資産合計	9,576,062	10,836,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,095,096	16,639,586
減価償却累計額	△7,665,902	△8,092,823
建物及び構築物(純額)	8,429,194	8,546,762
土地	1,926,347	1,926,347
リース資産	1,004,281	1,222,353
減価償却累計額	△419,500	△579,494
リース資産(純額)	584,780	642,859
その他	446,941	957,750
減価償却累計額	△290,194	△327,715
その他(純額)	156,746	630,035
有形固定資産合計	11,097,069	11,746,004
無形固定資産		
のれん	76,973	24,045
その他	1,251,521	1,259,456
無形固定資産合計	1,328,494	1,283,502
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,437,545	2,918,520
その他	1,426,095	1,873,092
貸倒引当金	△18,990	△18,990
投資その他の資産合計	3,844,650	4,772,623
固定資産合計	16,270,215	17,802,130
資産合計	25,846,278	28,638,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,214,790	6,426,904
短期借入金	2,174,000	3,475,000
1年内返済予定の長期借入金	2,184,267	2,281,891
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
リース債務	234,211	278,909
未払法人税等	337,126	76,039
その他	2,107,954	2,471,193
流動負債合計	13,362,349	15,119,938
固定負債		
社債	215,000	140,000
長期借入金	4,860,886	5,448,898
リース債務	456,552	482,161
退職給付引当金	215,610	232,282
役員退職慰労引当金	297,077	305,861
長期預り保証金	1,171,790	1,118,488
資産除去債務	149,949	155,972
その他	170,433	157,276
固定負債合計	7,537,300	8,040,941
負債合計	20,899,650	23,160,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,173	1,303,173
資本剰余金	1,224,682	1,224,682
利益剰余金	2,349,189	2,858,244
自己株式	△74	△74
株主資本合計	4,876,969	5,386,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,468	81,939
繰延ヘッジ損益	△2,293	△1,398
その他の包括利益累計額合計	64,175	80,541
少数株主持分	5,482	11,134
純資産合計	4,946,627	5,477,700
負債純資産合計	25,846,278	28,638,580

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
売上高	28,791,584	30,133,471
売上原価	20,494,313	21,499,618
売上総利益	8,297,270	8,633,853
販売費及び一般管理費	7,315,960	7,853,006
営業利益	981,310	780,846
営業外収益		
受取利息	8,416	11,789
受取配当金	4,050	5,062
受取手数料	97,535	100,086
その他	60,324	55,124
営業外収益合計	170,326	172,062
営業外費用		
支払利息	130,878	114,083
借入手数料	27,624	40,707
その他	24,757	20,633
営業外費用合計	183,260	175,424
経常利益	968,376	777,483
特別利益		
受取損害賠償金	106,167	257,225
その他	8,106	9,034
特別利益合計	114,273	266,259
特別損失		
固定資産除却損	4,180	15,413
減損損失	—	24,320
その他	—	2,970
特別損失合計	4,180	42,704
税金等調整前四半期純利益	1,078,469	1,001,039
法人税、住民税及び事業税	433,515	367,111
法人税等調整額	13,459	△35,455
法人税等合計	446,974	331,655
少数株主損益調整前四半期純利益	631,494	669,383
少数株主利益	5,428	5,651
四半期純利益	626,066	663,732

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	631,494	669,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,946	15,471
繰延ヘッジ損益	△2,324	895
その他の包括利益合計	4,621	16,366
四半期包括利益	636,115	685,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,687	680,098
少数株主に係る四半期包括利益	5,428	5,651

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,143,326	573,661	24,716,987	4,074,596	28,791,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	24,630	24,630	969,407	994,037
計	24,143,326	598,291	24,741,617	5,044,004	29,785,622
セグメント利益又は損失(△)	1,596,536	216,695	1,813,231	△138,776	1,674,455

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,813,231
「その他」の区分の利益	△138,776
セグメント間取引消去	22,376
全社費用(注)	△715,521
四半期連結損益計算書の営業利益	981,310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月21日 至 平成25年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームセンター 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,790,992	579,501	25,370,493	4,762,978	30,133,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	2,040	2,040	1,253,645	1,255,685
計	24,790,992	581,541	25,372,533	6,016,623	31,389,157
セグメント利益又は損失(△)	1,504,150	233,254	1,737,404	△160,014	1,577,389

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、複合商業施設事業、オフィスサプライ事業、自転車専門店事業、輸入卸売事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,737,404
「その他」の区分の利益	△160,014
セグメント間取引消去	△9,786
全社費用(注)	△786,756
四半期連結損益計算書の営業利益	780,846

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

- (2) 第1四半期連結会計期間より、従来、「ホームセンター事業」に含めておりました営業企画等に係る費用の一部を、全社費用に含めております。これは、新規事業の拡大に伴い営業企画活動が全社の共通基盤であるとの位置付けに基づき、営業企画活動に係る費用について内部報告の集計単位を本部費へ変更したことによるものであります。

第2四半期連結会計期間より、「その他」の区分に含めておりました「ハーブ・花・苗事業」を「ホームセンター事業」の区分に含めております。これは、平成25年6月21日付で「ハーブ・花・苗事業」を営む連結子会社であった株式会社エイトファームを、当社が吸収合併したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間より、「その他」の区分に含めておりました「リフォーム事業」を「ホームセンター事業」の区分に含めております。これは、平成25年8月26日付で当社が「リフォーム事業」を営む連結子会社ダイユーエイト・ホームサービスの事業の全部を譲受けたことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動がありません。